

# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 シダー  
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 座小田 孝安  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺戸 靖和

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,506	11.0	468	462.5	255		163	
29年3月期第3四半期	9,463	8.1	83	59.7	121		182	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 161百万円 ( %) 29年3月期第3四半期 183百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	14.27	
29年3月期第3四半期	15.87	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	18,369	1,052	5.7	91.70
29年3月期	18,043	888	4.9	77.42

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,052百万円 29年3月期 888百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 現時点では平成30年3月期の配当予想については未定であります。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,786	8.3	480	230.5	175		121		10.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)  
(注)特定子会社の異動には該当いたしません、味屋フーズ株式会社を第1四半期より連結子会社としております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
以外の会計方針の変更：無  
会計上の見積りの変更：無  
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	11,476,000 株	29年3月期	11,476,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	137 株	29年3月期	86 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	11,475,909 株	29年3月期3Q	11,475,914 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）が判断したものであります。

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善傾向が続くなかで、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、新興国経済の下振れによる懸念や英国のEU離脱問題、米国の新政権の政策等の影響による海外経済の不確実性の高まりにより、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

介護サービス業界においては、高齢社会の進行に伴い、介護サービスの需要は一層拡大することが予想されます。一方、平成27年度介護保険法が改正され、介護報酬の引き下げにより、サービスの質の向上及び人材の確保が経営上の最重要課題となっております。また、平成29年度の介護報酬改定では、介護人材の処遇改善について、職場定着の推進、介護サービス事業者等による昇給や評価を含む賃金制度の整備・運用状況などを踏まえ、事業者によるキャリアアップの仕組みの構築を促すため、更なる加算の拡充が行われております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、収益面では、主に前事業年度に開設した施設において、新規利用者の獲得と充実したサービスを提供すること等、施設稼働率の向上に努めました。利益面では、労務費を中心としたコスト管理を徹底してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は105億6百万円（前年同四半期比11.0%増）となり、営業利益は4億68百万円（前年同四半期比462.5%増）、経常利益は2億55百万円（前年同四半期は経常損失1億21百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億63百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億82百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①デイサービス事業

当セグメントにおきましては、既存デイサービス施設のサービスの質の向上により施設稼働率の向上に努めてまいりました。その結果、売上高は26億90百万円（前年同四半期比5.1%増）、セグメント利益は3億76百万円（同17.1%増）となりました。

#### ②施設サービス事業

当セグメントにおきましては、既存有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。その結果、売上高は71億14百万円（同14.0%増）、セグメント利益は7億56百万円（同92.6%増）となりました。

#### ③在宅サービス事業

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりましたが、売上高は6億53百万円（同4.1%増）、セグメント損失は48百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加して183億69百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億61百万円増加して173億16百万円となりました。また、株主資本は、前連結会計年度末に比べ1億63百万円増加して10億52百万円となっております。

この結果、自己資本比率は5.7%（前連結会計年度末は4.9%）となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	680,814	1,022,835
売掛金	2,159,170	2,328,103
その他	297,982	256,100
貸倒引当金	△2,115	△2,030
流動資産合計	3,135,851	3,605,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,677,481	5,280,317
土地	2,193,676	2,204,476
リース資産（純額）	4,520,003	4,400,043
その他（純額）	699,430	122,340
有形固定資産合計	12,090,592	12,007,178
無形固定資産	71,571	60,416
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,196,762	2,165,650
その他	551,106	533,146
貸倒引当金	△2,632	△2,371
投資その他の資産合計	2,745,236	2,696,425
固定資産合計	14,907,401	14,764,020
資産合計	18,043,252	18,369,029

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	241,697	226,303
短期借入金	3,320,000	2,950,000
1年内返済予定の長期借入金	652,048	731,256
未払法人税等	56,850	60,000
賞与引当金	182,521	50,218
その他	878,412	1,115,520
流動負債合計	5,331,529	5,133,297
固定負債		
長期借入金	5,112,003	5,537,017
リース債務	5,417,856	5,339,741
退職給付に係る負債	333,360	363,981
その他	960,008	942,497
固定負債合計	11,823,227	12,183,237
負債合計	17,154,757	17,316,534
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	432,280	432,280
資本剰余金	308,030	308,030
利益剰余金	148,302	312,044
自己株式	△16	△33
株主資本合計	888,596	1,052,321
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△100	△25
その他の包括利益累計額合計	△100	△25
非支配株主持分	—	199
純資産合計	888,495	1,052,495
負債純資産合計	18,043,252	18,369,029

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	9,463,189	10,506,202
売上原価	8,719,326	9,308,965
売上総利益	743,863	1,197,236
販売費及び一般管理費	660,525	728,473
営業利益	83,337	468,762
営業外収益		
受取利息	9,183	8,554
受取賃貸料	9,767	10,482
その他	12,396	11,559
営業外収益合計	31,348	30,596
営業外費用		
支払利息	228,709	241,116
その他	7,872	2,299
営業外費用合計	236,582	243,415
経常利益又は経常損失（△）	△121,896	255,943
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	△121,896	255,943
法人税、住民税及び事業税	17,085	37,443
法人税等調整額	43,179	57,559
法人税等合計	60,264	95,002
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△182,161	160,941
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	—	△2,800
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△182,161	163,742

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△182,161	160,941
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△1,392	75
その他の包括利益合計	△1,392	75
四半期包括利益	△183,553	161,017
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△183,553	163,817
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2,800



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,559,481	6,243,179	627,777	9,430,439	32,750	9,463,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	60,585	60,585
計	2,559,481	6,243,179	627,777	9,430,439	93,336	9,523,775
セグメント利益又は セグメント損失（△）	321,507	392,664	△41,833	672,338	△439	671,899

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉用具事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	672,338
「その他」の区分の損失	△439
セグメント間取引消去	△39
全社費用（注）	△588,523
四半期連結損益計算書の営業利益	83,337

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,690,146	7,114,231	653,738	10,458,115	48,086	10,506,202
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	166,447	166,447
計	2,690,146	7,114,231	653,738	10,458,115	214,534	10,672,649
セグメント利益又は セグメント損失(△)	376,378	756,147	△48,755	1,083,770	27,939	1,111,709

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉用具事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,083,770
「その他」の区分の利益	27,939
セグメント間取引消去	△235
全社費用(注)	△642,712
四半期連結損益計算書の営業利益	468,762

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額（△）	△15円87銭	14円27銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額（△） （千円）	△182,161	163,742
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利 益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金 額（△）（千円）	△182,161	163,742
普通株式の期中平均株式数（千株）	11,475	11,475

（注）当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。